

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和5年7月5日(2023.7.5)

【国際公開番号】WO2023/008365

【出願番号】特願2023-509841(P2023-509841)

【国際特許分類】

C 0 8 L 7 1 / 1 0 (2 0 0 6 . 0 1)

C 0 8 K 3 / 3 2 (2 0 0 6 . 0 1)

【 F I 】

C 0 8 L 7 1 / 1 0

C 0 8 K 3 / 3 2

10

【手続補正書】

【提出日】令和5年2月20日(2023.2.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(A)全芳香族エーテルケトン樹脂と、(B)酸と塩基とからなる塩と、を含み、下記pH測定法により測定して得られるpHが6~8であり、

前記(A)全芳香族エーテルケトン樹脂が、求核芳香族置換反応により重合され、かつ
ポリエーテルケトン、ポリエーテルエーテルケトン、及びポリエーテルケトンエーテルケトンからなる群より選ばれる1種以上である、全芳香族エーテルケトン樹脂組成物。

[pH測定法]

(a)全芳香族エーテルケトン樹脂組成物の粉末10gに、アセトン5mLを添加した後、純水100mLを添加して10分間攪拌し、その後ろ過する。

30

(b)前記(a)により得られたる液の液体成分を揮発させて生じた残渣に純水0.1mLを滴下する。

(c)温度を25とし、前記(b)において残渣に滴下した純水にpH試験紙を接触させてpHを測定する。

【請求項2】

前記(B)酸と塩基とからなる塩のpHが4~9である、請求項1に記載の全芳香族エーテルケトン樹脂組成物。

【請求項3】

前記(A)全芳香族エーテルケトン樹脂が、ポリエーテルケトンである、請求項1又は2に記載の全芳香族エーテルケトン樹脂組成物。

40

【請求項4】

前記(B)酸と塩基とからなる塩が、リン酸塩のうちの少なくとも1種である、請求項1~3のいずれか1項に記載の全芳香族エーテルケトン樹脂組成物。

【請求項5】

請求項1~4のいずれか1項に記載の全芳香族エーテルケトン樹脂組成物を成形してなる成形品。

【請求項6】

少なくとも、求核芳香族置換反応により重合される(A)全芳香族エーテルケトン樹脂に対して、(B)酸及び塩基、又は酸と塩基とからなる塩の少なくとも1種を添加し、下

50

記 pH 測定法により測定して得られる pH が 6 ~ 8 となるように調整する、全芳香族エーテルケトン樹脂組成物の製造方法。

[pH 測定法]

(a) 全芳香族エーテルケトン樹脂組成物の粉末 10 g に、アセトン 5 mL を添加した後、純水 100 mL を添加して 10 分間攪拌し、その後ろ過する。

(b) 前記 (a) により得られたる液の液体成分を揮発させて生じた残渣に純水 0.1 mL を滴下する。

(c) 温度を 25 とし、前記 (b) において残渣に滴下した純水に pH 試験紙を接触させて pH を測定する。

【請求項 7】

求核芳香族置換反応により重合され、かつ、ポリエーテルケトン、ポリエーテルエーテルケトン、及びポリエーテルケトンエーテルケトンからなる群より選ばれる 1 種以上である (A) 全芳香族エーテルケトン樹脂を含む全芳香族エーテルケトン樹脂組成物の溶融粘度の滞留安定性の向上方法であって、

前記全芳香族エーテルケトン樹脂組成物に、(B) 酸と塩基とからなる塩を添加して、下記 pH 測定法により測定して得られる pH を 6 ~ 8 とする、全芳香族エーテルケトン樹脂組成物の溶融粘度の滞留安定性の向上方法。

[pH 測定法]

(a) 全芳香族エーテルケトン樹脂組成物の粉末 10 g に、アセトン 5 mL を添加した後、純水 100 mL を添加して 10 分間攪拌し、その後ろ過する。

(b) 前記 (a) により得られたる液の液体成分を揮発させて生じた残渣に純水 0.1 mL を滴下する。

(c) 温度を 25 とし、前記 (b) において残渣に滴下した純水に pH 試験紙を接触させて pH を測定する。

10

20

30

40

50